

後継者不足に悩む干拓地を受け継ぐ

藤本 裕介（ふじもと ゆうすけ）

所在地：上天草市大矢野町
就農時期：2022年9月～（就農4年目）
生産品目：小麦、きゅうり、たまねぎ
経営面積：小麦約18ha、きゅうり10a、
たまねぎ80a

農業大学校卒業後は商社勤務をしていましたが、結婚を機に妻の実家がある上天草市に移住し、新規就農者となりました。

その後、県と市の担当者から後継者不在の阿村干拓生産組合の紹介を受け、3年前から組合員として小麦を栽培しています。

阿村干拓（約18ha）は、昭和40年代に基盤整備され、昭和53年に阿村干拓生産組合を設立しています。（組合員38名）



～阿村干拓について～

長年小麦を生産してきた阿村干拓生産組合は、組合員の平均年齢が70歳を超え、後継者不在により存続が危ぶまれていました。組合は、その旨を上天草市に相談し、就農して間もない私が紹介を受け、組合の一員となりました。

阿村干拓は、令和8年から翌年にかけて、畦畔除去等により区画を拡大する基盤整備を行う予定です。

現在は小麦を年に一作しか栽培していませんが、基盤整備後は用水の管理が容易になることから、今後は小麦とWCS用稲の二毛作を行いたいと考えています。

～今後の目標～

令和7年に阿村地域機械共同利用組合を立ち上げ、補助事業と融資によりトラクターやコンバイン等の機械を導入しました。

将来的には乾燥調製施設も整備し、土地利用型で水稻の栽培も考えています。

また、担い手不足や高齢化が深刻化する地域農業を支えるため、作業受託についても検討しています。



～阿村地域機械共同利用組合で整備した機械～

令和7年に農地利用効率化等支援交付金の活用と融資により、トラクターやコンバイン等、機能性やコストパフォーマンス等を重視し、最新の機械を導入しました。



トラクター



コンバイン



麦の播種機



ブームスプレーヤー



ロータリー